

## 【令和7年度 学校評価アンケートに係る自己評価及び考察】

【生徒・保護者・教職員評価】 4: そう思う 3: だいたいそう思う 2: あまりそう思わない 1: そう思わない

【自己評価、運営協議会評価】 4: 期待以上 3: ほぼ期待通り 2: やや期待を下回る 1: 改善を要する

	評価項目 (4段階で評価)	平均値			考察等 (○は分析、◆は改善や今後の方向性)	自己評価	協議会評価
		生徒	保護者	教職員			
確かな学力の定着	1 授業改善による「わかる授業」の展開	3.5	3.3	3.1	○ 生徒は、どの学年も肯定的な回答をじているが、教師はさらなる授業改善に努めたいとの意識が表れている。 ◆ 生徒の主体的な学習、個別最適な学習の在り方について研究し、授業改善を継続する。	3	3
	2 話し合い活動を取り入れた授業・ICT機器を活用した授業	3.7	3.5	3.3	○ ほとんどの生徒が、授業でタブレットを使用したり、話し合い活動をしたりしていると感じている。 ◆ ねらいをもったICT機器の利用、話し合い活動を取り入れた授業を今後とも実践し、教育効果を高めていく。	3	3
	3 家庭学習を充実させる具体的な手立ての指導	3.5	3.2	3.3	○ 生徒は、宅習や課題等で家庭学習は充実していると感じているが、保護者・教師は、さらなる具体的な手立ての必要性を感じている。 ◆ さらに家庭での学習が充実するように、個に応じた家庭学習の在り方を指導する。	3	3
	4 読書活動の推進	3.4	2.7	2.7	○ 生徒は、学年が上がるにつれて読書をする機会が少なくなっている。特に3年生では読書よりも勉強に時間を使う傾向がある。 ◆ 読書に関心を持たせるために選書会の実施を継続し、図書室開放日を増やすなどの工夫を行う。また家庭と連携した取組を考え、啓発していく。	2	2
豊かな心の醸成	5 あいさつや言葉遣いの指導	3.3	3.2	3.3	○ あいさつや言葉遣いについてまだ改善できると感じている生徒もいる。保護者・教師も改善すべきと考えている点がある。 ◆ 場に応じたあいさつの指導は今後も継続する。言葉遣いについては、日常生活における適切な言葉遣いの指導を徹底し、家庭との連携も深める。	3	3
	6 生徒会活動やボランティア活動等を通じた自主性・主体性の育成	3.5	3.1	3.0	○ 生徒の主体的な活動を促し、自主自律の精神を育むため、生徒会活動の在り方を変更してきた。まだうまく機能していない面もあり、評価が低い部分もあると考えられる。 ◆ 諸塚中ならではの生徒会活動の在り方を生徒の考えを引き出しつつ、システムを構築していきたい。	3	3
	7 学校行事、委員会活動等を通じた達成感を持たせる指導	3.8	3.5	3.6	○ 行事では各実行委員会・リーダーを中心として生徒ひとりひとりが達成感を十分に得ることができている。各委員会活動は生徒会活動の活性化と合わせて活動の意義が浸透していきいていると考える。 ◆ 生徒会活動の活性化を図り、委員会活動をより主体的なものにする。少人数の行事でも達成感が得られるように学校行事を運営する。	4	4
	8 道徳等を通じた思いやりの気持ちや差別しない心の育成	3.9	3.1	3.3	○ 生徒の評価からは、道徳の授業やいのちを大切にする授業、国際理解教育を通して、ある程度の効果が上がっていると考えられる。 ◆ 道徳等で学習したことが、日常生活で生かすことができるように、人との関わり方など関連した指導の充実を図る。	3	3
たくましく生きる力の育成	9 将来の夢や目標を育むキャリア教育の充実	2.9	3.1	3.0	○ 各学年でさまざまな体験活動や講話等を実施した。生徒の中には将来の夢がもていないと回答しているため、キャリア教育の根本的な見直しが必要である。 ◆ さらにキャリア教育について研究を深め、各学年の実態に応じて3年間を見通した計画的・系統的なキャリア教育の充実を図る必要がある。	2	2
	10 避難訓練等の安全教育を通して安全意識の高揚	3.7	3.3	3.4	○ 避難訓練(地震・火災)、交通安全指導や「休業中の生活心得」の指導を通して、自分の命を守る行動について理解はできているようである。 ◆ さまざまな場面を想定した指導を充実させ、計画的に指導することによって、安全意識を高めるよう努める。	4	4
	11 健康に関する情報提供および健康管理の指導	3.6	3.2	3.4	○ 健康に関する自己管理能力の育成のため保健指導、食育の充実を図った。また掲示物や保健だより、給食だより等で情報の提供を行った。そのため生徒の評価は高い。 ◆ 今後とも計画的に健康に関する指導を継続し、自己管理能力の育成を図る。	3	3
家庭・地域との連携	12 学校だよりやホームページ、学級通信等による情報発信		3.3	3.6	○ 学校ホームページの更新、学校だより、学級通信、保健だよりの発行は定期的に行われている。緊急の場合は、安心安全メールで情報発信するなど、情報伝達の手段は整備できている。 ◆ 地域や保護者に必要な情報をしっかりと届ける。安心安全メールの積極的な活用を図る。	3	3
	13 保護者・地域との連携		3.1	3.2	○ 総合的な学習の時間における地域との連携は積極的に図れている。村の行事への参加もできている。PTA活動は一部変更や延期となった。 ◆ 地域との連携は継続する。PTA活動については再検討し、保護者の協力を得られるようにする。	3	3